

校庭の 二本松

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

上西小学校のシンボルだった二本松が、マツクイムシの被害を受けて55年前に惜しくも伐採（注；詳細は下段※を参照）されました。二本松の思い出について、上西小学校創立125周年記念誌に寄稿して下さった方々の言葉をお借りして、紹介します。

私の思い出は、やはり校庭の二本松でしょうか。他の学校にはない、フィールド内の二本松。夏の暑い日でも私たちに影をつくってくれ、外で元気よく遊びまわったものでした。

(T)

校庭には二本の松が雄々しく生えていて、悪いことをしたり、忘れ物をしてしたりすると、先生から罰として周りを走らされました。

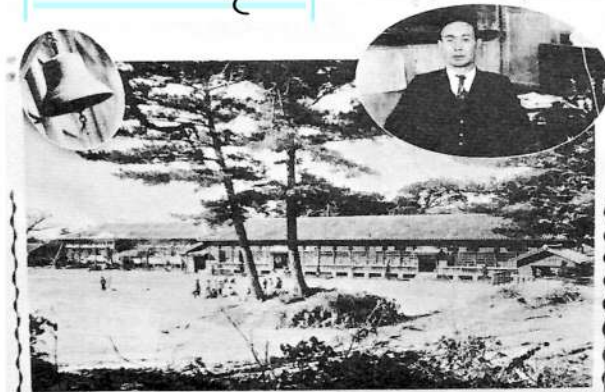
(H)



運動会の風景
(年代は不明)

校庭には、第三コーナーの近くの築山に二本の松の木があって、その横にブランコがありました。運動会の際には、本部席からは見えにくく、前を走っている人を引っ張って、順位が変わっていたこともありました。

(I)



昭和29年頃の
←学校全景

えのもつねき
榎本常喜校長(右上)
希望の鐘(左上)

<写真は上西小学校創立
百周年記念誌「まなびや」
より>

校庭の東に岩山がありました。春夏秋冬どつしり自分たちを見守ってくれていた二本松根は、ごっことして大地をつかんでいました。よく自分たちも松の木の下で遊びました。根元から見上げると、とても大きく、ちよつと怖かったことを覚えていきます。

先生に叱られたときやけんかをしたりして泣いている人は、不思議なことに松の木の根元に隠れていました。名前についてはなかったこの二本の松は、自分たちの年代の人にとつては、それぞれに思い出があると思います。(K)

(K)



昭和47年 二階建て校舎が竣工

上西小学校の思い出を語り合うとき、二本松がよく話題になります。

姿が消えた今も、卒業生の心に寄りそい、励まし、勇気づけてくれたあの二本松のことを現在編集集中の『伊勢暦』で紹介します。お楽しみに。

(『伊勢暦』は来年秋に完成予定)

※昭和44年9月20日に一本伐採。翌、昭和45年10月11日に残る一本が伐採された。(上西小学校日誌より)